

特色ある教育活動（総合的な学習）

越前市万葉中学校

「地域の特色を生かした体験学習を充実し，自ら学び，自ら考え，行動できる生徒を育成する」

今の子どもたちが成人し社会で活躍する頃には，さらにグローバル化が進み，人工知能の飛躍的な進化に伴い，子どもたちをとりまく環境は激しく変化していくと予想されます。社会に出る子供たちに求められる資質も今までのものとは異なったものが求められています。例えば，様々な変化に積極的に向き合い，他者と協働して課題を解決していくことや，多様な人間関係の中で社会性や対人関係能力を身につけることなど複雑な状況変化の中で適応する能力が必要になってきます。こうした状況の中，学校は，家庭・地域・関係機関等との連携を深めつつ，生徒たちに普段体験できないことを体験させ，豊かな心，たくましく生きる力を育成する役割を担っています。

そこで，本校では総合的な学習の時間において，家庭・地域との連携を生かした特色ある体験学習や課題追究学習を実施し，学校教育目標である「心豊かにたくましく生きる生徒の育成」をもとに，「自ら学び，自ら考え，行動できる生徒の育成」に向けた教育活動に取り組んでいます。

1 総合的な学習の時間を通して

総合的な学習の時間の全体方針として，「地域社会の中でよりよい生き方を求め，実践できる生徒の育成」を掲げ，地域の歴史や文化に実際にふれる活動を行っています。さまざまな活動を通して，地域の方と関わる中で豊かな心情を養い，地域社会の一員としての自覚を持ってよりよい生き方をしているとする態度を育てることを重点目標として，各学年が活動に取り組みました。

(1) 家庭や地域と連携した特色ある体験学習

① 命のぬくもり体験学習（2年）

● 赤ちゃん抱っこ体験：平成30年11月1日（木），2日（金）実施

事前学習では，初めに生命の誕生の現場に40年以上立ち会ってこられた現役の助産師の話を通じて，自分や周りのみんなが，かけがえのない生命を与えられていることに対する喜びと感謝の気持ちを持ち，「命のぬくもり体験学習」に臨んでいく



準備としました。また、妊婦ジャケットを装着してさまざまな家事のような活動をする妊婦体験学習において妊婦の大変さを実感したり、人形を用いた育児体験でおむつ交換や着せ替えの練習を行ったりすることで、実際の赤ちゃんに接したときに落ち着いて行動できるようにしました。



こうして迎えた体験当日は、保護者や地域、市健康増進課、赤ちゃん抱っこ隊の方々の協力を得て、生後2か月～1歳ぐらいまでの赤ちゃんを抱いたり、あやしたり、おむつ交換や身体計測をしたりするなどの体験活動を実施しました。練習とは違ったこともたくさんありましたが、慌てずに落ち着いて接することができました。命のぬくもりだけでなく、家族としてのあり方などたくさんを学ぶことができました。



2日間で、延べ70人ほどの赤ちゃんとそのお母さんに来校していただき、充実した時間を過ごすことができました。

すことができました。

②農業体験（3年）

●赤米田植え：平成30年5月8日（火）実施

●赤米稲刈り：平成30年8月23日（木）実施

上代からの古い伝承が多く存する校区の特色にちなんで、古代米である赤米の歴史や調理法などを学ぶとともに、赤米田植えと稲刈りの農作業体験を実施しました。



赤米についての学習と農業体験を通して勤労の喜びを味わい、食の大切さを知るとともに地域の歴史と自然を知り、愛校心と郷土愛を育みました。

なお、例年ゴールデンウィーク中に味真野地区で開催されている「あじまの万葉まつり」において、昨年度に作った赤米を販売する活動を行いました。地域の方をはじめ、訪れた県内各地の人たちに学校の活動をPRできる活動となりました。



(2) 地域社会と連携した課題追究学習(1, 2年)

1年生は「探偵！万葉スクープ」のテーマのもと、地域をフィールドにし、調査探究活動を行いました。活動の中で、熱心に質問したり、新たな課題を発見したり、地域の方と密接に関わりながら活動することができました。調査結果は、グループでまとめた壁新聞を活用して発表会を行いま



した。他の班の発表を見ることで、地域の文化や伝統、産業について見識を広めることができました。また、今年度は保護者会の日に、体育館を使用して、ブース形式で発表会を行い、生徒が調査してきた取り組みについて発信することができました。その後、お世話になった方々へのお礼の手

紙を書き、感謝の気持ちを伝えることもできました。

2年生は、「職場体験」「高校調べ」を行いました。職場体験では、保護者や地域の方々の協力を得て、さまざまな職場で働くことを体験しました。2日間の体験を通して、仕事のやりがいや苦勞等について学ぶことができました。高校調べでは、自分の興味のある高校について調べました。将来を見通し、自分の夢に向かって主体的に進路選択ができるよう取り組みました。



2 おわりに

テーマである「地域の特色を生かした体験学習」を通し、それぞれの学年の状況に合わせた活動が行われました。どの学年にも共通して言えることは、地域住民やボランティア、あるいは専門家の方々のお話を聞いたり、コミュニケーションを図ったりする中で、学校にとどまっているだけでは学べないような社会につながる情報やスキルを生徒たちが身に付けることができたことです。中学生というさまざまな成長を伴う時期に、家庭や地域社会と連携した体験活動を通して、広い社会に目を向け、よりよい生き方を学ぶよい機会となりました。

それぞれの体験活動において、情報をまとめ、発信することで活動の振り返りとなりました。学級内での発表はもちろん、学年全体へ情報を広げたり、地域へ発信したりすることで、目的意識を持ち、伝える相手を考えた情報発信をすることができました。今後も、現代社会に適應できる生徒の育成を目指した活動を推進していきたいと考えています。